

東京都緩和ケア研修会（多職種）

多職種の役割

— 栄養士 —

目的

- 多職種での緩和ケア集合研修を充実させるために、知識を振り返り、緩和ケアの概念を理解する。
- 様々な専門性や価値観をもった、メンバー間の意見を互いに尊重できる。
- 緩和ケアにおける栄養士の役割を理解することで、よりよい緩和ケアを目指すチーム医療によるアプローチを考えることができる。

目次

- がん患者さんへの管理栄養士の関わり
(実際の業務)
 - がん患者をサポートするチーム医療と管理栄養士
 - がん治療中の栄養管理 (周術期・化学療法・放射線療法)
 - 終末期の栄養管理
- 多職種に知って欲しいこと

がん患者さんへの 管理栄養士の関わり

管理栄養士は術前から治療期、終末期すべてのステージでかかわることがあります。

- ✓ 栄養状態の評価
- ✓ 筋肉量維持
- ✓ 体重コントロール
- ✓ 血糖コントロール

- ✓ 摂取量維持
- ✓ 水分調整
- ✓ QOL、食事の楽しみ維持

診断

術前

術後

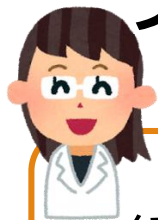
化学療法・放射線療法中

終末期

- ✓ 水分、電解質コントロール
- ✓ 体重コントロール
- ✓ 血糖コントロール
- ✓ 栄養状態維持・改善

- ✓ 水分、電解質コントロール
- ✓ 体重コントロール
- ✓ 血糖コントロール
- ✓ 栄養状態維持・改善

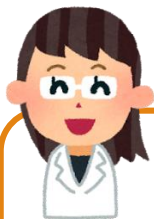
がん患者をサポートする チーム医療と管理栄養士



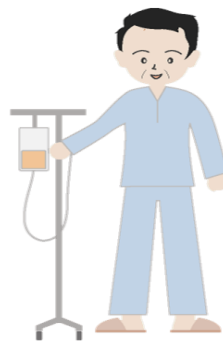
緩和ケアチーム



リンパケアチーム



周術期
サポートチーム



化学療法
サポートチーム



栄養
サポートチーム

嚥下チーム



周術期栄養管理

- ① 栄養状態の確認（体重、血液データ、体組成計）
- ② 術後食事開始時の食事指導

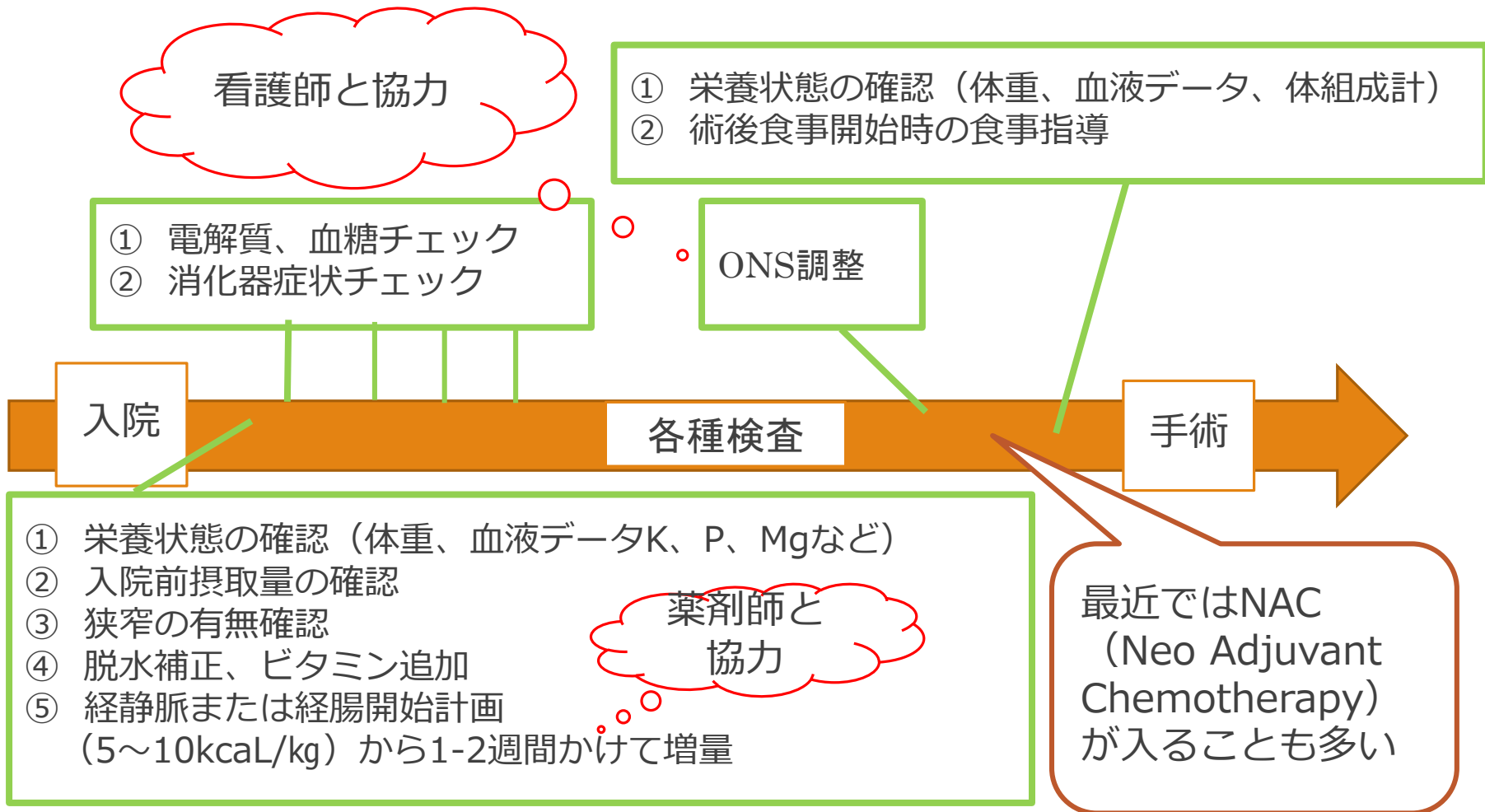


- ① 栄養状態の評価
（体重、血液データ、体組成計）
- ② 必要栄養量の算定と摂取量の確認
- ③ 不足する場合はONS※提案
- ④ 血糖コントロール不良・肥満の場合は
清涼飲料水や菓子類など中止の指導

- 低栄養症例
（リフィーディング症候群注意）
- ① 経口摂取可能の場合
食事+ONS調整
 - ② 経口摂取不可・経腸栄養可能
経腸栄養剤調整
 - ③ 経口・経腸不可の場合
経静脈栄養調整

※ONS（Oral Nutrition Supplementation）経口的栄養補助

周術期栄養管理（低栄養症例）



周術期栄養管理（術後）

- ① 栄養状態の確認（体重、血液データ）
- ② 必要栄養量の算定と摂取量の確認
- ③ 水分・電解質チェック
- ④ 廃液チェック
- ⑤ 血糖チェック
- ⑥ 輸液調整の相談

- ① 退院時栄養指導
- ② ONS退院処方依頼

手術

経腸栄養
開始

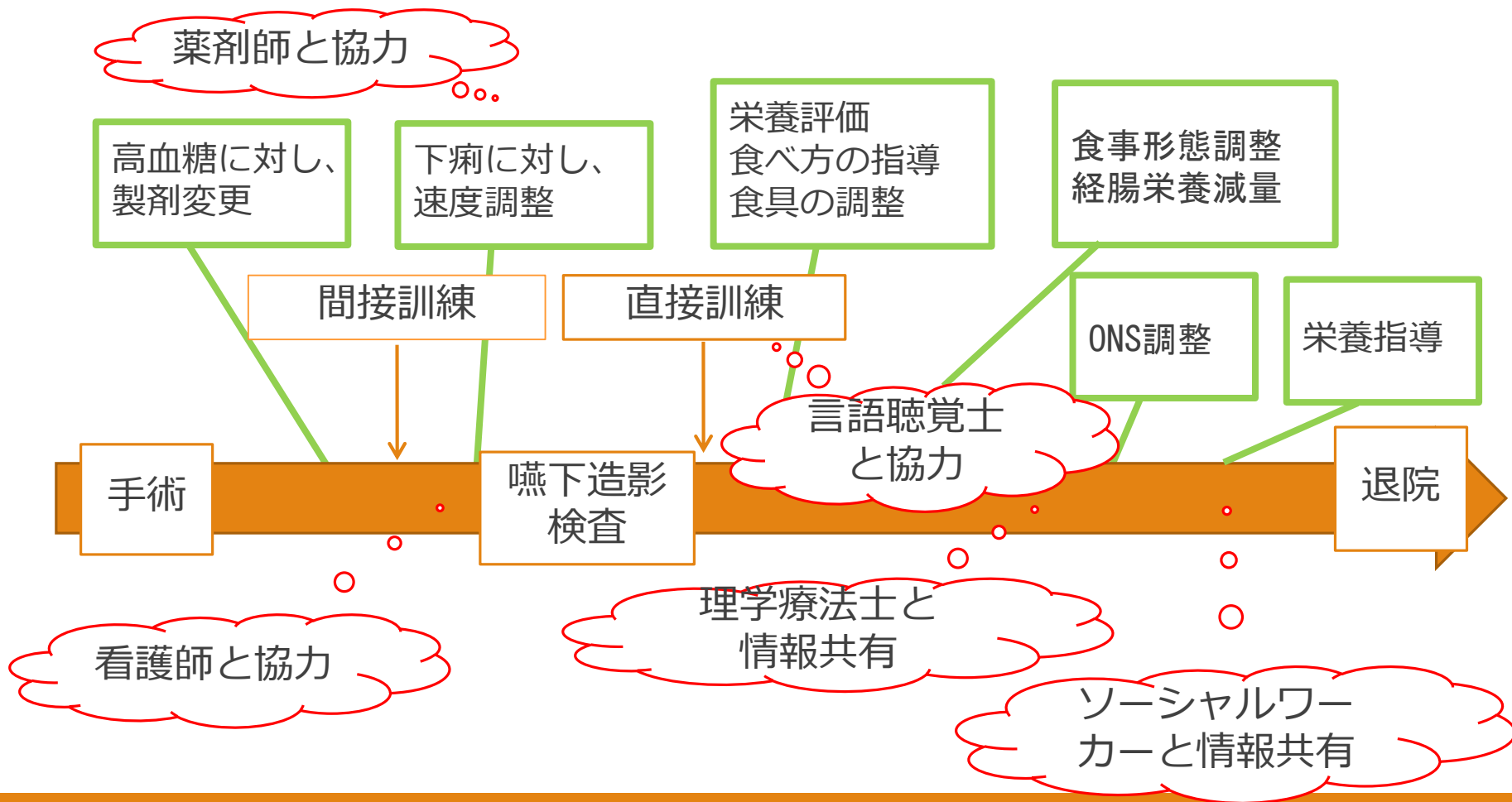
食事
開始

退院

- ① 栄養状態の確認（体重、血液データ）
- ② 必要栄養量の算定と摂取量の確認
- ③ 水分・電解質チェック
- ④ 排便・廃液チェック
- ⑤ 血糖チェック
- ⑥ 栄養剤調整の提案

- ① 栄養状態の確認（体重、血液データ）
- ② 必要栄養量の算定と摂取量の確認
- ③ 消化器症状チェック
- ④ 必要時、食形態の調整
- ⑤ 必要時、食具調整
- ⑥ 不足する場合はONS提案

周術期栄養管理 (経腸・経静脈・経口)



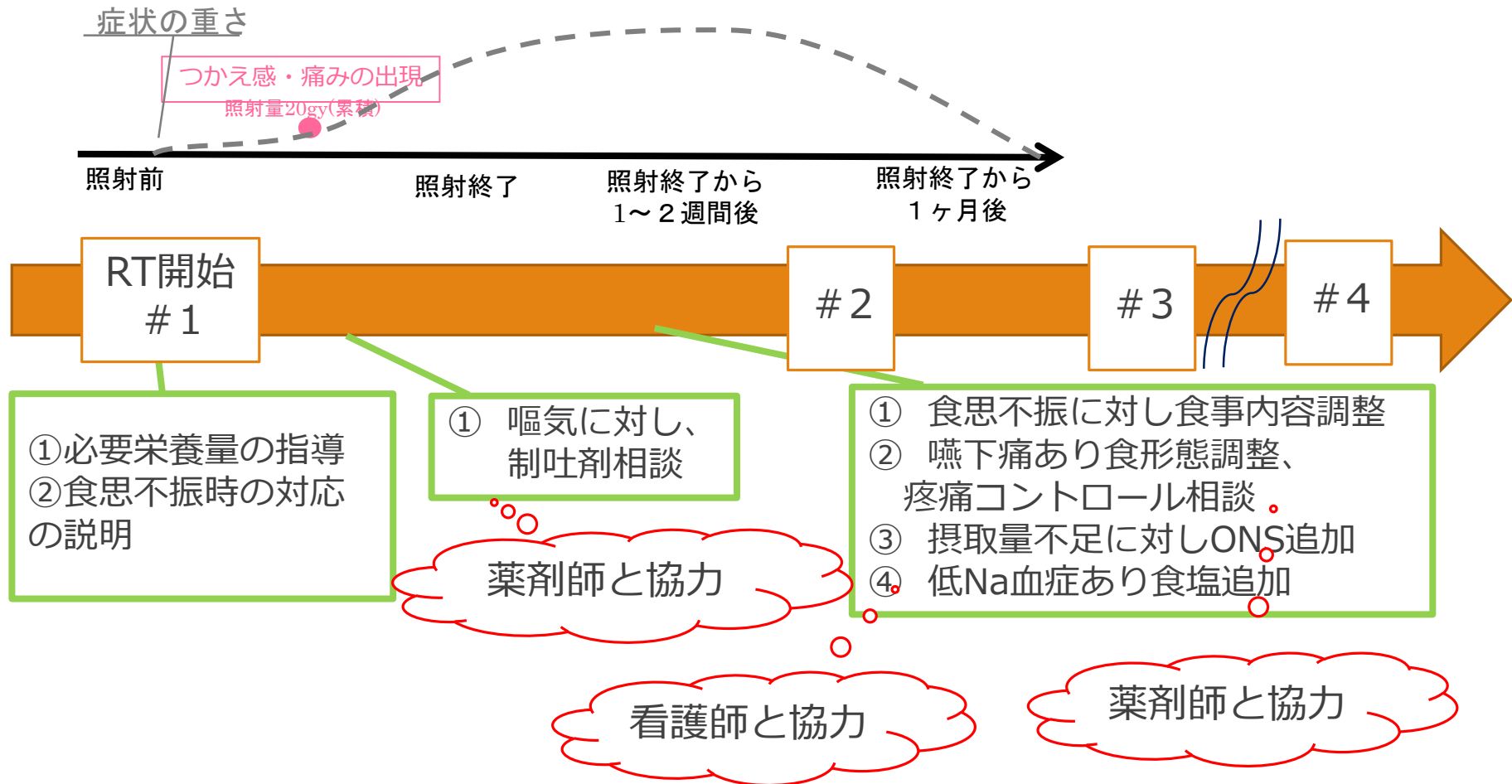
化学療法・放射線療法中の 栄養管理（概要）

- ①必要栄養量の指導
- ②食思不振時の対応の説明



- ① 栄養状態の確認（体重、血液データ）
- ② 必要栄養量の算定と摂取量の確認
- ③ 水分・電解質チェック
- ④ 消化器症状チェック
- ⑤ 血糖チェック
- ⑥ 栄養剤調整の提案
- ⑦ 必要時、食形態の調整
- ⑧ 必要時、食具調整
- ⑨ 味覚障害出現ないか確認

化学療法・放射線療法中の 栄養管理（化学放射線療法）



終末期の栄養管理（概要）

- 悪液質の進行を見極める。
- 少しでも食べられる楽しみをサポートする。
食べられないことへの不安を軽減できるように努める。

終末期の栄養管理

多職種で
情報共有

栄養療法実施と評価
患者負担になる場合は中止
不可逆的悪液質なのか検討

家族と相談

食べられないことへのケア
少しでも食べたい気持ちへのサポート

なぜ栄養摂取ができないのか、
改善しないのか検討
器質的なもの？
副作用によるもの？
食事環境によるもの？

医師へ確認

薬剤師と協力

看護師と協力

臨床心理士
と相談

まとめ

- 各ステージで管理栄養士はかかわることができ、
がん患者の栄養改善や治療サポートが可能。
- マンパワーが足りないため多職種からの情報や
協力がかせない。